

## 令和4年度アンケート調査結果に係る取組事項

### (1) 新型コロナウイルス感染症及び物価高騰の影響への支援

#### 現状・課題

- ・新型コロナウイルス感染症について、多くの事業者が「マイナスの影響があった」と回答しています。また、半数以上の事業者が、現在においてもその影響が継続しており、回復が遅れています。(特にサービス業において影響が大きい。)
- ・事業所の対応としては、「補助金、融資制度の活用」が最も多い。
- ・コロナ禍による物価高騰も加わり、資金繰りの悪化も懸念されます。

#### 取組

○新型コロナウイルス感染症及び物価高騰による影響への支援

取組	内容	短期	中期
新型コロナウイルス感染症及び物価高騰による影響への支援	・新型コロナウイルス感染症、物価高騰に係る補助の実施により、中小企業者を支援する。	検討・実施	実施

#### 【目標指標】

指標名	単位	現状値	目標値 (2027年) (2022~2027年度末までの累計)
新型コロナウイルス感染症に係る補助の実施件数	件	(2022年度時点) 2,542 (4事業)	8,000
物価高騰に係る補助の実施件数	件	(2022年度時点) 907 (2事業)	2,000

### (2) DXの導入及びSDGsの取組について

#### 現状・課題

- ・近年話題となっている「IT化支援(DX含む)」、「SDGsの取組支援」について、支援を求める事業者数はそれほど多くありませんでした。
- ・DXの導入状況について「すでに導入している、または導入作業中」、「導入の検討をしている」と回答した事業者は、回答者全体の約3割であり、SDGsの取組状況について「すでに取り組んでいる」、「取組の検討をしている」と回答した事業者は、回答者全体の約4割にとどまっています。
- ・しかしながら、これらの技術等を活用することで、生産性の向上や人手不足の解消、必要経費の削減に資することも考えられます。

※DXとは：企業がAI（エーアイ）などの先端的なデジタル技術を用いて、デジタル化が進む高度な将来市場においても新たな付加価値を生み出せるよう従来のビジネスや組織を変革することです。近年、デジタル技術の利活用が社会で急速に進展しています。

※SDGsとは：世界中で環境問題・貧困・紛争・人権問題など多くの課題に直面しており、このままでは安定してこの世界で暮らし続けることが困難な状況となっていることから、「世界中にあるこれらの問題を、2030年までに解決していこう」という計画・目標（SDGs）がたてられました。

近年、このSDGsに企業が取り組んでいるかどうか社会的に重視される考えが広まっています。

## 取組

- ・DXの導入及びSDGsの取組に対する支援を求める事業者が少ないため、現時点では支援は行いません。
- ・しかしながら、今後これらの課題に取り組む事業者が増え、必要な支援を求められる際は、支援策の検討を行うこととします。